

千葉県循環器病センター
次期病院情報システム調達業務
仕様書

令和7年7月4日
千葉県循環器病センター

<目 次>

1. 業務名	．．．．．3
2. 調達業務の目的	．．．．．3
3. 作業期間	．．．．．3
4. 調達範囲	．．．．．3
5. 納入成果物と納入期限	．．．．．4
6. 調達に関する基本事項	．．．．．4
7. スケジュール上の留意事項	．．．．．5

(別紙及び参考資料)

仕様書別紙1	「千葉県循環器病センター次期病院情報システム技術仕様書」
仕様書別紙2	「対象システム一覧」
仕様書別紙3	「現行病院情報システム構成図」
仕様書別紙4	「新病院情報システム機器台数」
仕様書別紙5	「導入スケジュール（想定）」
仕様書参考資料1	「案内表示モニタ設置予定図」
仕様書参考資料2	「現行病院情報システム接続機器リスト」
仕様書参考資料3	「現行病院情報システムネットワーク図」

1. 業務名

千葉県循環器病センター次期病院情報システム調達業務

2. 調達業務の目的

千葉県循環器病センターにおける現行の電子カルテ等基幹システム及びその他部門システムを含めた現行の病院情報システムは、平成27年度の稼働以降、運用を継続しているが、ハード面に関しては稼働開始から間もなく10年となり、サーバや端末の老朽化が進み故障等の可能性が高まる一方で、修理対応は年々困難となりつつある。

また、ソフト面でも、基幹システムをはじめとする多くのシステムが令和2年にサポート終了済みのWindows 7をOSとして稼働している等、継続性、安全性の両面で稼働限界を迎えつつあるといえる。

このことから、当院では、令和7年度から8年度にかけて、現行システムを刷新し、病院全体の情報システム（以下、「次期病院情報システム」という。）を調達することを計画している。本業務は、必要最小限の費用で次期病院情報システムを適正に調達することを目的とする。

3. 作業期間

契約締結の日から令和8年6月1日

4. 調達範囲

本業務における調達業務と見積の範囲を以下に示す。詳細は仕様書別紙1「千葉県循環器病センター次期病院情報システム技術仕様書」による。

（1）システム及び調達業務 一式

次期病院情報システムのうち、基幹システム及び基幹システムと一括調達する部門システム（以下、調達システムという。）に係る概要設計、詳細設計、運用設計、プログラミング、既存システムからのデータ変換・登録、帳票作成、一括調達しない部門システム等との連携接続、各種テスト、職員教育、稼働後初期支援、プロジェクト推進のマネジメント等、次期病院情報システムが適正に稼働し、効果を発揮するために必要な一切の業務。

なお、現行システムからのデータ移行に関する抽出及び取込等の業務、現行システムデータを参照するための参照系システムの構築に係る業務についても本業務に含めること。

（2）ハードウェア及びソフトウェア一式

別途指示するものを除き、サーバ、病院情報端末、プリンタ、スキャナ、バーコードリーダ等に係るハードウェア及びソフトウェア一式。

ハードウェアについては、仕様書別紙4に定める機器一式。また、本業務に含まれるシステムが稼働するために必要なソフトウェア（ライセンス費を含む。）等の導入設定、運用管理（不具合時の切り分け、応急処置）を含むものとする。

設置場所の最終的な定義、相乗り調整、端末配置並びに端末管理に必要な文書の整備までの一切の作業を本業務に含むものとする。なお、サーバ、端末等の納入時期については、別途当院と合意するものとする。

(3) 病院情報ネットワークとの接続に関する設定及び調整

病院情報ネットワーク（院内外・インターネット接続含む）との接続に関する設定及び調整は本業務に含むものとする。

(4) 部門システムとの接続に係る設計・開発

上記(1)に定める調達システムと、現行部門システム及び本業務とは別に当院が更新する部門システムとのネットワーク接続及び機能連携等に係る業務のうち、部門システム向け仮想サーバの整備、及び接続連携にあたり調達システム側で必要となる設定変更や改修等に係る一切の業務。また、これに伴うシステム構成図、運用手順、管理規程等システムを適正に運用管理するためのドキュメント類一式の作成を本業務に含むものとする。

(5) 本業務の企画提案書にて提案を行った一切の業務

(6) その他、目的を達成する上で必要な業務で、別途当院と協議し合意に至った業務

5. 納入成果物と納入期限

仕様書別紙1「千葉県循環器病センター次期病院情報システム技術仕様書」による。

6. 調達に関する基本事項

(1) 調達対象システム

調達範囲は仕様書別紙1「千葉県循環器病センター次期病院情報システム技術仕様書」のとおり。

(2) 再接続・個別更新部門システム

仕様書別紙2「対象システム一覧」のうち、「今回対応」列に「再接続」と記載されているシステムを、再接続システムとする。調達システムと再接続システムとの接続に係る業務のうち、調達システム側で実施する業務の一切を本業務に含むものとする。

同じく「対象システム一覧」のうち、「今回対応」列に「個別更新」と記載されているシステムを、個別更新システムとする。調達システムと個別更新システムとの接続に係る業務のうち、調達システム側で実施する業務の一切を本業務に含むものとする。

(3) 部門連携項目

システム間において、現在連携が行われている主要な情報を仕様書別紙3「現行システム連携図」に示す。現在連携が行われている情報は本業務においても連携を維持することを前提とする。連携内容については、対象システムとの接続に係る設計・開発工程にて当院及び対象システム納入事業者と十分に調整しつつ最終化し、成果物として最終化結果を提出すること。なお、本項に定めるほかに調達システム

側で連携に必要な業務が生じた場合にも、当院と協議しつつ柔軟に対応すること。

7. スケジュール上の留意事項

(1) 稼働日

稼働日については当院及び納入候補者にて協議の上決定するが、現時点では以下を想定している。切り替えスケジュール等詳細は、別途当院と協議の上決定するものとする。

(ア) 稼働 令和8年6月1日 月曜日

(2) 情報システム全体の導入スケジュール

導入スケジュールは、仕様書別紙5「導入スケジュール（想定）」を基本とすること。

なお、各工程の作業詳細については以下の点に留意しつつ当院と協議の上決定し、仕様書別紙1「千葉県循環器病センター次期病院情報システム技術仕様」記載のとおり、プロジェクト計画書を作成すること。

(ア) パッケージに合わせた運用検討期間を2か月以上確保すること。

(イ) 設計完了時期に中間検査を実施し、部門システムを含めた設計遅延を未然に防止すること。

(ウ) 稼働2か月以上前から操作研修を実施し、リハーサル前の操作習熟を促進すること。

(エ) データ移行リハーサル、システム移行リハーサル、業務運用リハーサル等、総合テスト完了後（すなわちシステム完成後）にリハーサルを実施すること。リハーサルは2回以上実施して、業務運用とマスタを検証できるスケジュールを計画すること。

(オ) 稼働前に並行稼働期間を設定して、業務習熟度の向上と事前準備徹底によりシステム稼働・切り替えへのリスクを低減すること。

(カ) 一部の現行システムが令和8年6月1日施行予定の診療報酬改定に対応できないため、調達システム稼働の延期は不可能であることを認識し、作業期間内に診療に影響を生じない水準で確実に稼働させること。

(キ) 前項に関連して、万一調達システムが期日までに必要な水準で稼働せず、結果当院又は当院で業務に従事する委託事業者等において損失又は費用負担が生じた場合は、納入候補者にその責がない場合を除き、当院から納入候補者へその補填を求めることがある。

(3) 関係事業者との協同

本業務で調達されるシステムが期日に遅れることなく安定的に稼働するためには、調達システムと各部門システム等との円滑な接続連携が図られることが必須であることから、当院とも協議の上、各部門システムの納入事業者等と積極的に連携協同して本業務にあたること。